



ヘルスデータサイエンス学会 第1回学術集会

本学会は、ヘルスケアに関する情報を迅速かつ正確に国民に届けるための基盤であるヘルスデータサイエンス学の確立と普及を目指します。その本質はデータに基づく科学であり、伝統的な学問分野としては情報学と統計学がそれを支える柱となります。これらの科学的課題に挑戦するためには、あらゆる分野の専門家の英知を結集する必要があります。近い将来、ヘルスデータサイエンス学が真に価値のある学問として認められ、その成果が社会に役立つことを目指して活動します。多くの皆様の本学会への参画を心から願っています。

2022年11月26日(土) 10時～18時オンライン開催

参加費：会員 正会員・学生会員共0円／非会員 一般8,000円、学生3,000円

2022年11月20日迄に入会お申込みの方も参加費無料

定員200名 参加登録は[こちら](#)

プログラム

10:00-10:10 開会挨拶

代表理事 手良向 聡 (京都府立医科大学大学院医学研究科 教授)

10:15-12:00 シンポジウム 1

「リアルワールドデータからリアルワールドエビデンス創出」

- ・「リアルワールドエビデンス創出の課題～京都大学病院 RWD プロジェクト～」
松本 繁巳 (京都大学大学院医学研究科リアルワールドデータ研究開発講座)
 - ・「リアルワールドデータに混入しやすいエラーと解析上の落とし穴」
岡田 昌史 (新医療リアルワールドデータ研究機構株式会社)
 - ・「病院情報システムのデータを利活用するための取り組み」
青柳 吉博 (国立がん研究センター東病院)
- 座長 松本 繁巳 (京都大学大学院医学研究科 特定教授)

13:00-14:00 特別講演

「科学と信仰：ヘルスデータサイエンスとは何か～予測科学としての臨床医学のフロンティア」

福島 雅典 (LHS 研究所 代表理事、京都大学名誉教授)
座長 手良向 聡

14:15-16:00 シンポジウム 2

「統計的因果推論の基礎と最前線」

- ・「反事実因果モデルによる統計的因果推論の基礎」
松山 裕 (東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野)
 - ・「反事実予測モデルと個別化治療効果」
萩原 康博 (東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野)
 - ・「因果媒介分析 (mediation analysis)」
篠崎 智大 (東京理科大学工学部情報工学科)
- 座長 松山 裕 (東京大学大学院医学系研究科生物統計学分野)、
篠崎 智大 (東京理科大学工学部情報工学科)

16:15-18:00 シンポジウム 3

「頻回計測モバイルセンサーデータの医療・健康・医学研究利用の課題と展望」

- ・「医療・健康における頻回計測センサーデータ利用の意義と課題：
パーソナルヘルスレコード (PHR) の取り組み」
高橋 翼 (PHR 普及推進協議会、beyondS)
山本 景一 (PHR 普及推進協議会、和歌山県立医科大学)
 - ・「関節リウマチ患者における客観的睡眠解析の重要性」
山田 真介 (大阪公立大学膠原病内科学)
 - ・"Sensor Data Integration Project" Theuns Bouwer (Oracle Corporation)
 - ・「頻回計測センサーデータの解析手法」
阪口 昌彦 (大阪電通大学情報通信工学部情報工学科)
- 座長 永井 洋士 (京都大学医学部附属病院先端医療研究開発研究機構)、
山本 景一 (和歌山県立医科大学 情報基盤センター)